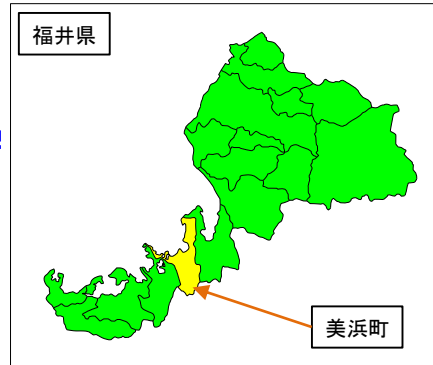


獣害対策を契機に多角的な取組へと発展

(福井県三方郡美浜町 ^{みはまちょう} 新庄集落協定) ^{しんじょう}



- 農事組合法人「新庄わいわい楽舎」が中心となり、協定農用地の利用集積を図るとともに獣害対策や高付加価値米を導入したブランド化を推進。

面積:18ha(田) 交付金額:388万円(個人配分70%、共同取組活動30%)
協定参加者:農業者21人、農事組合法人1法人(6人) 協定開始:平成12年度

取組の概要

- 当地区は、福井県美浜町の南部に位置し、水稻を中心とした兼業農家が大半を占めている。
- 平成10年に有害鳥獣対策協議会を設立し、長年被害に悩まされていた獣害対策を集落全体で協力し実施したことを契機に、平成12年度より本制度に取組み、獣害対策及び機械の共同利用等を実施。
- 平成18年には、本制度の取組み開始と併せ設立された新庄中山間機械利用組合を新庄わいわい楽舎に改組。平成19年に法人化し、協定農用地の約6割(H30:12ha)を引き受けているほか、同法人が中心となり、ブランド米の生産・販売や獣害対策を兼ねた牛の放牧による耕作放棄地の復田、体験型観光の受入れによる都市農村交流等の取組を実施。



【新庄地区の様子】



【共同作業の様子】

取組の特色

- 当地区では、有害鳥獣による被害や中山間地の不利な生産条件により米の増収が望めないこと等から米の高付加価値化を目指し、(農)新庄わいわい楽舎が平成19年に県のエコファーマーの認定を受け、特別栽培米を生産。「やまびこ米」としてブランド販売(特別栽培米:1俵2万4千円)するほか、町内の酒造メーカーと契約し、特別栽培米の酒米を生産・販売(当該酒米からできた日本酒は「早瀬浦 夜長月」としてブランド販売)。(特別栽培米の販売額:215万円(H30))
- 耕作放棄地において牛の放牧を実施。獣害が低減するとともに耕作放棄地の復田を実現し、コシヒカリを作付。景観の改善や経営面積の拡大に寄与。(復旧面積:5.5 ha)
- 町の地域資源である人と自然を活用し、様々な体験を通して地域の活性化に寄与する活動を行っている「若狭美浜はあとふる体験推進協議会」等と連携し、県内外からの体験型観光事業の体験者の受け入れ(3戸が民泊登録)とともに、地元の保育園、小学校の農業体験を支援を実施。(交流人口:約80人(H30))



【やまびこ米】



【牛の放牧】